

6月「19の日」行動

スタンディングアピールへ参加を！

菅首相は命・暮らしを優先し、改憲策動をやめよ！
今回も、デモはありません。

コロナの感染拡大が全国に広がっています。度重なる緊急事態宣言により、市民の生活と営業の危機が広がっており、政治の遅れと誤りによる人災状態です。今こそ暮らし、雇用や生業を守る政治が求められており、「オリンピック開催」に固執する、菅首相や自民党の責任は重大です。

やっとワクチンの接種が進みだしましたが、地方自治体にほとんど丸投げです。あまりにも無責任な対応に、批判が広がっています。

一方、国民の苦難を横目に、菅政権と与党は、デジタル化法案や高齢者の窓口負担二倍化等の法案を可決し、憲法審査会での国民投票法の強行採決や土地利用規制法案など、どさくさに紛れて悪政を進め、引き続いて憲法の改悪をねらっています。

「憲法を変えるのではなく、政治をかえよう」「コロナ対策に全力を尽くせ！」の声をあげましょう。憲法を守って生かす政治、国民の手に政治を取り戻すため、草の根から「野党は共闘」の声を広げましょう。次回は土曜日、時間に注意を。



とき **6月19日(土)**

午後 **4時30分～** 街頭スピーチ

デモは中止します (スタンドアピールのみ)

マスクの着用を! プラカードなどでアピールを!

ところ **京都市役所前 (御池通側歩道)**

呼びかけ **安保法制廃止をめざす市民アクション@京都**